

事業承継 フォーラム 2011

事業承継は絆をつなぐ

確かな絆を強める承継へ

～次代を見据えた事業承継計画書の作成～



少子高齢化や長期にわたる景気低迷で中小企業の「後継者問題」が深刻化している。中小企業の減少は日本経済の衰退に直結するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構は、事業承継支援の啓蒙・普及を目的に9月16日に東京・千代田区で「事業承継フォーラム2011～事業承継は絆をつなぐ～」を開催した。デンタルミラーやプロジェクター用リフレクターで世界トップシェアを誇る岡本硝子株式会社社長の岡本毅氏による講演の後、「事業承継虎の巻」と題した演習が2コースに分かれて実施された。主に経営者を対象とした「事業承継計画書の作成」、主に支援者を対象とした「最適な株式承継で事業価値を強化する」とそれぞれ実務に役立つプログラムであり、参加者は演習に真剣に取り組み、理解を深めていた。

来賓あいさつ

中小企業の潜在力強化を目指す

リーマン・ショック以降、世界的に厳しい状況にあるが、日本は天災、超円高も加わり、中小企業の置かれている状況は大変厳しい。そういう状況で中小企業は経営力をグローバルに追求し、潜在力を最大化していく時期にさしかかっている。少子高齢化もあり事業承継は後継者難ではあるが、これまであまり視野になかった企業の合併・買収(M&A)も力にして潜在力を最大化していく、それに官民を上げて取り組んでいく必要がある。このフォーラムが経営力を引き上げる契機になってほしい。

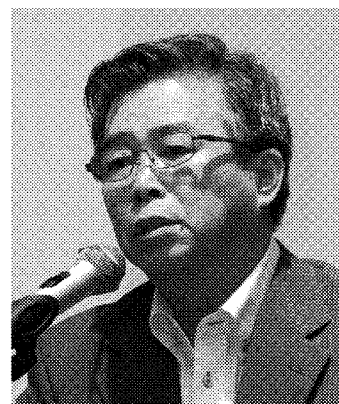


中小企業庁
事業環境部長
加藤 洋一氏

主催者あいさつ

事業承継で素晴らしい日本の引継ぎを

東日本大震災の被災者の中には事業を再開し、従業員、家族を養いたいと思っている方が大勢いらっしゃる。爪痕は大変大きい中小企業は資金繰り、仮設工場、仮設店舗の建設などで支障している。これからもしっかりと支援していきたい。さて、今回の事業承継フォーラムでは事業承継計画書の作成方法も演習していただく。講演会で話を聞くだけでなく、みんなで悩み考えながら身につけていただきたいと思います。思いから。次世代へ上手に事業を引継ぎ、素晴らしい日本を引継いでいただきたい。



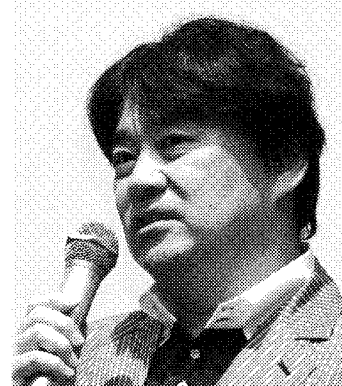
独立行政法人
中小企業基盤整備機構 理事
広瀬 邦明氏

新施策の紹介

事業引継ぎ 支援について

中小企業庁は後継者不足による中小企業の廃業や技術の消滅を防ぐため、新たに「事業引継ぎ円滑化支援」に乗り出した。この「引継ぎ」とは「事業を承継する人がいないため、第三者に譲り渡す」ケースのこと。各都道府県に設置している認定支援機関に「事業引継ぎ相談窓口」を設置するなどの対策を講じる。中小企業の中には事業を継続したいが承継者

各種支援で円滑な引継ぎを促進



中小企業庁
事業環境部 企画課長
間宮 淑夫氏

がないためやむなく廃業するケースも多く、雇用や技術などの地域財産が喪失しかねないことから、「国としても大変な問題」となっている。「相談窓口」は事業診断、事業継続に関する情報提供・助言を行う。特に需要の多い支援機関には「事業引継ぎ支援センター」を設置、仲介業務などより専門的な対応を行う。同センターは10月に東京、大阪、11月には名古屋、

基調講演

天職の承継 ～技術と経営の絆で 世界の町工場へ～



岡本硝子株式会社
代表取締役社長
岡本 毅氏

苦勞乗り越え父の夢果たす

「これからは、一瞬たりとも父が生きていたら後悔するのはやめよう。ただ、父であつたらどうしたんだろうか」ということは行動の指針としていい。一息を継いだ当時の日記だ。1980年に大学を卒業し、先代である父の反対を押し切り警察官の道に進んだ。その16年目に父が事故で亡くなった。集中治療室(ICU)で父を見たとき、これは天から与えられた職だという「神の声」が聞こえた。岡本硝子を経営する父の姿、父の考え、父の決断を見た。当初はガラスのガの字、経済のケの字、貸借対照表(B/S)も損益計算書(P/L)も分からず苦労した。しかし、父を超えたいという

演習A

事業承継虎の巻 ～事業承継計画書の作成～



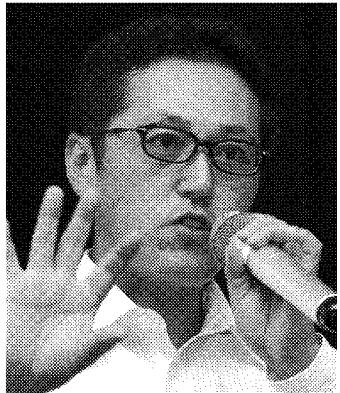
城所会計事務所 所長
公認会計士 税理士 行政書士
城所 弘明氏

事業承継は知識ではなく覚悟

円滑に事業を承継するために不可欠な事業承継計画書。実習Aでは城所会計事務所所長の城所弘明氏が「事業承継計画書の作成」を指南した。作業は「事業承継の現状を明確に把握することから開始。参加者は用意されたテキストの「経営理念」「会社の現状」「株主の状況」「会社の諸規程」「経営者の家族構成」などの欄に自社の状況を記入。会場内では中小機構の事業承継コーディネーターが書き方をサポートするため巡回した。作業を並行して城所氏は「会社の諸規程」では定款に

演習B

事業承継虎の巻 ～最適な株式承継で 事業価値を強化する～



株式会社アタックス
取締役執行役員
アタックス税理士法人
代表社員 COO 税理士
磯竹 克人氏

計画を立て財産と経営の調和を

演習Bは「最適な株式承継で事業価値を強化する」と題して、株式会社アタックス取締役執行役員でアタックス税理士法人代表社員COOの磯竹克人氏が講師を務めた。磯竹氏は実体験を交えながら、オゾンドックスな中小企業をモデルとして事業承継の進め方を解説した。モデル会社は資本金2000万円、売上高11億円の卸売業。事業承継では「株主の状況、業績の推移、今後の見込み、株価の現状と見込み、さらには経営者、後継者の考え方が重要になる」とこ